

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100302
法人名	医療法人佐藤循環器科内科
事業所名	グループホーム朝生田の里
所在地	愛媛県松山市朝生田町4丁目10番25号
自己評価作成日	平成23年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成23年8月10日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ほとんどの利用者が透析治療を受けられており、食事、水分、運動制限がある中で生活をされている。制限のある中でも、月ごとのレクリエーションを行ったり、地域で開催される体育祭や文化祭に参加したりと楽しみを持った生活をして頂けるように努めている。中でも、誕生日のお祝いとして年に1度は、本人の好きな所にお連れしたりもしている。ほとんどの利用者が高齢の上、週に3回透析をされているが、職員が利用者の癒しとなるように笑顔や思いやりの心を忘れずに接するように努めている。また利用者との日々の会話を大切に、ふと言った言葉を逃さず、願いが叶うようお手伝いし、より豊かな生活が送れるように支援している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

運営推進会議を「里の集い」と名付け、ご家族や地域の方々お気軽に参加できるようにネーミングを工夫されている。さらに、ご家族へは「どんな会なら参加してみたいか」、「参加しやすい時間帯」、「知りたい内容」等について、アンケートを取り、多くのご家族が関心を持って参加して下さるよう努められ、この一年間、さらに意義ある会議が開催できるよう取り組まれた。
職員は、自主的にエコプロジェクトを立ち上げられ「透析中の利用者の居室のエアコンは消しましょう」「紙も資源の一部大切に使いましょう」と掲示して、節電や節水、紙の使いすぎに気を付けるよう取り組まれている。
食事制限のある利用者も、時には、食べたいものが食べられるように柔軟に対応されている。また、利用者がお世話して実ったキュウリで酢の物やサラダを作り、みなで楽しむこともある。外で芋炊きやバーベキューを楽しむこともある。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 仙波 美江

評価完了日 2011年 7月 30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所 理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有 して実践につなげている	(自己評価) 「開かれたホームを目指し、地域の人と共に生活する」という 理念を掲げ、地域の行事に参加したり、ホームの夏祭りに来て 頂いている。	
			(外部評価) 理念に沿ったケアができていないかということを職員で話し合 いながら、ケアに取り組んでおられる。利用者は、透析治療 を受けながら生活しておられる方も多く、食事や行動等、い ろいろな面で制限がある中、地域行事や外出等、利用者の 体調や希望に合わせ支援できるよう努めておられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に 交流している	(自己評価) 地域の夏祭りや体育祭、近隣施設の文化祭に参加してい る。また散歩時に近隣の方と顔見知りの関係となり、庭に咲 いてある花の苗を頂いたりした。	
			(外部評価) 散歩時、近所の方に「ふうせんかずら」の苗をいただき、事業 所の中庭で大切に育てておられる。地域の夏祭りは、利用 者と職員で出かけて、スイカを食べたり盆踊りを踊って楽しま れた。法人の夏祭りには多くの地域の方、地区婦人会、三味 線、フラダンス等のボランティア、近くのグループホームの利 用者や職員の参加もあり、楽しく交流された。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向 けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議で質問があれば答えている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 年間レクリエーションや外部評価の結果について運営推進会議で報告している。また外部評価での指摘事項への改善への取り組みについても話している。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議を「里の集い」と名付け、ご家族や地域の方々が気軽に参加できるようにネーミングを工夫されている。さらに、ご家族へは「どんな会なら参加してみたいか」「参加しやすい時間帯」「知りたい内容」等について、アンケートを取り、多くのご家族が関心を持って参加して下さるように努められ、この一年間、さらに意義ある会議が開催できるよう取り組まれた。会議は、利用者の日々の暮らしをスライドを使って紹介されたり、透析治療に多くの水が必要になるため、近くで上水道管の破損があった際のことについても状況報告をされた。民生委員の方や近所の方からは、公民館での催し物についての情報を教えてもらっている。年間では、夏祭りやお花見等の行事に合わせた会議等も行い、メンバーの方達と親睦を深めておられる。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議や地区での連絡会での付き合いがある。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、市の担当者から、他事業所の取り組みや地域とのつきあいのアイディア等を教えていただくこともある。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 内部研修でどのような事が身体拘束にあたるのか、全職員が勉強したため、理解できている。</p> <p>(外部評価) 身体拘束について事例を挙げて、すべての職員で考えたり話し合いながら、意識を一つにして拘束をしないケアに向けて取り組まれている。法人の「身体拘束廃止委員会」が行う研修等にも参加されている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 内部研修で全職員が高齢者虐待について学んだ。利用者や家族の声に耳を傾けたり、入浴時やおむつ交換時には不審な点はないか、身体の観察を行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 個々で外部の研修に参加したり、運営推進会議で地域包括支援センターの方に成年後見制度について学んだ。また必要そうな方にも話をしたりしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 重要事項を押さえ、説明を行っている。また疑問点や不安な事についてお聞きし、安心していただけるように努めている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日頃から利用者とコミュニケーションを取ったり、家族が来所された時は必ず近況報告を行うようにし、話しやすい関係作りに努めている。また意見箱や苦情相談窓口を設置している。 (外部評価) 年4回発行されているホーム便り「朝生田の里」には、日々の利用者や事業所の様子の写真を多く載せておられ、ご家族にも喜ばれている。ご家族の来訪時には、利用者の様子を報告して意見をうかがったり、法人内の異動等、職員が入れ替わった際にも伝えておられる。又、遠くに住むご家族へは電話で報告をされている。事業所の夏祭りやお花見等の行事の際には、ご家族もともに楽しめるよう案内されており、ご家族同士でお話する機会にもなっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			全体ミーティングや毎月行っているカンファレンスで意見交換し、改善できるように努めている。	
			(外部評価)	
			法人内研修は、同じ内容の研修が、月7回開催されており、職員はそれぞれの勤務状況に合わせて受講されている。職員は、自主的にエコプロジェクトを立ち上げられ「透析中の利用者の居室のエアコンは消しましょう」「紙も資源の一部大切に使いましょう」と掲示して、節電や節水、紙の使いすぎに気を付けるよう取り組まれている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			代表者は年に1度、年間に受けた研修や学会発表などを提出し、年間の実績により、次年度の給与を決定している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			個々の力量に合わせて、県外の研修に出張として行かせたり、今年度からは全職員を対象として、毎月様々な研修を行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			県外に出張に行かせたり、学会の発表時、他施設の方と交流している。また他施設の発表を聞いて、参考にしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者、家族に事前に見学や面談し、安心して入居頂ける関係作りに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前や契約時にご家族と面談する時間を持ち、安心して任せて頂けるように努めている。	
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) リハビリや外部の訪問マッサージが必要と思われる方には勧めたりしている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 個々の得意な事、出来る事を見極め、洗濯物干しやたたみ、洗い物など手伝って貰っている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 夏祭りや芋炊きなどの行事に家族も参加頂いたり、遠方におられるご家族には電話を掛けるお手伝いをし、関わりが持てるように努めている。またケアプラン更新時には、ご家族にも意向をお聞きしている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 居室には電話があり、いつでも掛けられる。遠方にお住まいの家族に、電話や手紙でやりとりができるようお手伝いしている。また職員は、家族、友人等が訪ねて来やすい雰囲気作りに努めている。 (外部評価) タクシーを利用して馴染みの美容院へ出かける利用者もあり、タクシーの運転手の方に職員が行き先を伝え、帰りは美容院の方がタクシーに頼んでくださって、利用者が一人で行き来できるよう支援されている。ご本人が書いたご家族宛ての手紙を、郵便局に出しに付き添われることもある。ご自宅へ外泊されたり、カラオケや回転寿司、高島屋での買い物等、それぞれのこれまでの馴染みの場所や楽しみごと等が続けられるように支援されている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士の間人間関係を見ながら、性格の合う方同士と一緒に過ごせるように配慮している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) グループホームから法人内の有料老人ホームに移った利用者とは、散歩やイベント時に交流している。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話から思いや希望を聞き取ったり、ケアプラン更新時に本人の意向を把握できるように努めている。	
			(外部評価) 利用者が希望されている暮らし方や要望を日々の話しの中から把握されている。意思表示が難しいような利用者は、しぐさや表情等で把握できるよう努めておられる。アセスメントツールのソフトを導入されて、入居時、その後、現在と情報の蓄積をされている。「職員や利用者の顔と名前が覚えたい」と言われる利用者の思いを汲み取り、みな顔写真と名前が載せてあるミニアルバムを作られた。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時、家族にセンター方式シートに記入頂いたり、利用者との会話から生活歴を探り、把握に努めている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) ケース記録に一人ひとりの会話や活動内容を記入し、職員間で共有している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族の意向をお聞きし、意向にそったケアプランの作成をしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>透析治療を受けている利用者は、医師や栄養士、利用者の健康上必要な関係者とも話し合い、ご家族の意見も反映して介護計画を作成しておられ3ヶ月ごとに見直しされている。誕生日等に、行きたいところに出かけられるよう介護計画に盛り込みながら支援されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケース記録やパソコンの日誌に記入し、情報を共有している。また3ヶ月毎のケアプランの見直しの際に、カンファレンスを行い、職員間で共有している。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の身体の状態をみて、訪問マッサージを頼んだり、外出時の付き添いを外部の業者に依頼したりしている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>近くの公園に散歩に出かけたり、スーパーに買い物に行ったりしている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>経営母体が病院であるため、適切な医療を受けられる体制がある。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>事業所と法人医療機関は、通路でつながっており、利用者は職員とともに受診や透析治療に行かれている。又、状態によっては事業所に往診にも来てくださっている。他医療機関の受診を希望される場合には、母体病院で紹介状を書いてくださるようになっており、ご家族が付き添って受診されている。歯科は訪問診療を受けておられる。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ホーム内や透析室の看護師にパソコンでの伝達や連絡ノート、口頭で伝えるようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>母体病院を通じて、情報を得ている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>母体病院を通じて、情報を得ている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>家族と終末期についてその時々話し合いを行い、母体病院にもその意向を伝えている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族と終末期についてその時々話し合いを行い、母体病院にもその意向を伝えている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>入居時、ご本人、ご家族に終末期のあり方について希望を聞いておられ、その後、重度化した場合等、ご家族は主治医と話し合いを持ち、事業所で見る場合は、利用者やご家族の希望に沿えるように、「どのような支援ができるか」ということを職員で話し合っておられる。ご家族も事業所に泊まり、職員とともに看取られた事例もある。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 内部研修に参加したり、個人個人で外部研修を受けている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に2回消防訓練を行い、夜間を想定した訓練も行っている。 (外部評価) 併設の母体病院と合同で避難訓練を行っておられる。夜間想定での避難訓練時、職員は、シーツを使って2階から利用者を降ろす訓練を経験された。冷蔵庫、ロッカー等には、転倒防止金具を取り付けておられる。地域の避難訓練に職員が参加して、地域の方達とともに災害時の対応について学ばれた。	地域の協力者を増やしたり、又、ともに事業所で避難訓練を行う等、事業所の建物の条件や利用者の状態、又、時間帯等、いろいろな場面を想定して避難訓練を重ね、いざという時、すべての利用者、職員が安全を確保できるような方法を見つけていかれてほしい。
,その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個々の人格を尊重し、失敗したり、出来ない事があっても責めたり、恥ずかしい思いをしないような対応を心掛けている。 (外部評価) 職員は、一人ひとりを「傷つけない声のかけ方」に気を付けておられ、「自分がされたり、言われて嫌なことはしない、言わない」ことを心がけておられる。調査訪問時、食後の歯磨きを終えて口紅を直された利用者、職員は「きれいな色ですね。とっても若々しくなられました」と声をかけられ、利用者は「そお、ありがとう。若く見える？」と笑顔で応えておられた。毎朝早く、下着やパジャマをご自分で洗濯し、ベランダに干す利用者もあり、利用者のできることをそっと見守って支援されている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の会話から本人の思いや希望を聞き取り、叶うように努めている。また決めれない時は、何点が提案し、選んで頂くようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、 一人ひとりのペースを大切に、その日をどのよ うに過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 入浴、散歩など本人の希望にそえるように支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよ うに支援している	(自己評価) 買い物レクで服を購入される方もおられる。また更衣の際に 自分で服を選んで頂いている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に 準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 病院の管理栄養士がメニューを作成しているので、利用者 の好みのものを取り入れてもらえるように努めている。	
			(外部評価) 昼・夕食は、隣接の法人内の厨房で準備されたものが届き、 各ユニットで刻んだり、ミキサーにかけたり、とろみを付ける 等、個々の状態に応じて調理され盛り付けされている。調査 訪問時、食欲が出ない利用者には、小皿にいろいろなもの を少しずつ盛り付け、はしを付けやすく配慮されていた。職 員も利用者と一緒にテーブルを囲み、サポートしながら同じ食事を 食べておられた。食後に下膳されたり、お盆を拭いてくださ る利用者の様子がみられた。食事制限のある利用者も、時 には、食べたいものが食べられるように柔軟に対応されてい る。また、利用者がお世話して実ったキュウリで酢の物やサラ ダを作り、みなで楽しむこともある。外で芋炊きやパーベ キューを楽しむこともある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じ て確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣 に応じた支援をしている	(自己評価) ほとんどの方が透析をされているので、食事や水分の制限 はあるが、管理栄養士の指導のもと、一人ひとりに応じた支 援を行っている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、 一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔 ケアをしている	(自己評価) 毎食後、口腔ケアを行っていただき、清潔を保っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄シートを利用し、排泄パターンや個人の排泄前の行動パターンを探り、トイレで排泄できるように努めている。	
			(外部評価) 紙パンツを使用している利用者に尿意があることが分かり、職員はサインを察知して、トイレで排泄できるよう支援し、現在は、布パンツで過ごされているような事例もある。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) ほとんどの利用者が透析をされているので、食事や水分の制限があるため、薬に頼っている。天気を見て、散歩にはお誘いして歩いて頂くようにはしている。	
			(外部評価) 透析日には入浴できないが、個人の希望にそって、夜間入浴希望にも対応している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴の際には、石けんを使用されたり、お気に入りのシャンプーを使う利用者もいる。ご本人の希望で夕食後にひとりで入浴される利用者には、職員が、時々そっと見守り、時にはサポートしながら支援されている。もともと入浴がお嫌いな利用者の方には、散歩の後に声かけをする等、入浴につながるようタイミング等に工夫されている。	
			(外部評価) 本人のリズムに合わせたり、体調をみて休んで頂いている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬局から薬の情報を得ているが、すべての把握までには至っていない。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 裁縫、園芸、音楽鑑賞など、一人ひとりの趣味や楽しみを把握し、気分転換できるよう支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩に出掛けている。また個々の行きたい所が遠方であれば、家族にお願いしている。年に1回は誕生日レクとして本人の行きたい所に出掛ける事もある。	
			(外部評価) 利用者の誕生日には、ご本人が希望するところに出かけられるよう支援されている。ご自宅に戻ってみられる方もいる。季節毎のお花見や回転寿司等に外食されたり、買い物等に出かけておられる。出かけた際には、お好きなアイスクリームやたこ焼きを食べて帰ることもある。市民会館に観劇に出かけたり、法人の文化センターの文化祭も見学に出かけられた。今年から、法人の有料老人ホームの利用者と合同で外出する機会も多く作られている。調査訪問時には、職員と一緒に散歩に出かける利用者の様子がみられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金を自分で持たれている方もおり、買い物の際に支払いしてもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 居室に電話があり、いつでも掛けられる。家族に手紙を書いたりもらったり、年賀状を作成するレクレーションを行ったりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			リビングから中庭が見え、野菜や花を見る事ができるので、成長を楽しみにされている。	
			(外部評価)	
			玄関には、鉢植えの花が飾られていた。又、中庭には、朝顔が咲き、利用者と一緒にキュウリやトマトを育てておられる。時には中庭のベンチでお茶を楽しむこともある。共用空間の壁には、紙で作った干支のうさぎを飾っておられたり、行事の写真やホーム便りを掲示されていた。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価)	
			自由に空いている席に座ったり、中庭のベンチで過ごしたりしている。	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)	
			自宅で愛用されていたタンス、椅子、絵画、写真など馴染みの物を持ってきて頂き、安心して生活できるように努めている。	
			(外部評価)	
			仏壇・お位牌やタンス、テレビ、時計、椅子、シルバーカー等、利用者の使い慣れたものや馴染みのものを持ち込まれている。アイロン、アイロン台を準備されて、透析治療に行く際には、パジャマにアイロンを掛ける利用者もいる。お好きな絵画等を飾って、気分が優れないような時にも和めるような環境作りに配慮されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)	
			ホーム内は段差がなく、手すりを設置しているので、車椅子の方、そうでない方も自由に移動できる。また廊下に通行に邪魔になる物を置かない様にしている。	